

国立病院機構東埼玉病院 「在宅医療連携拠点事業」 報告

国立病院機構東埼玉病院
蓮田市白岡市宮代町・在宅医療連携推進協議会
事務局

目的

平成24年度より開始した
国立病院機構東埼玉病院

「在宅医療連携拠点事業」（埼玉県一般枠）
の現状と計画について報告する

事業の施行地域

- 原則通り、「地域完結型の在宅医療」を志向し、二次医療圏より狭いエリアを設定
- 蓮田市・白岡市・宮代町エリアで施行
- 「人口」（蓮田市、白岡町（市）、宮代町、それぞれ、約63000、約50000、約33000）

「医療機関数」「在宅支援診療所数」（2，2，1施設）「訪問看護ステーション数」（1，2，2施設）、同じ医療圏、同じ保健所管内など勘案

活動日程

- 6月：採択決定
- 6月、7月、8月、9月：
関係団体を訪問し協議・準備（のべ16回）
- 9月：第一回協議会：初顔合わせ、規約作成
（医師13名、歯科医師5名、薬剤師2名、看護師4名、介護・福祉職6名）
- 10月：事業開始

1 マッピング

- 基礎データの作成
- 地域に存在する在宅医療に関わる全施設
事業所、全職種をリストアップ
- マップ作成

2 高齢化率、死亡数を算出

- 各種人口データを参考に、我々の地域における高齢化率、死亡数を算出

3 「多職種連携の課題に対する解決策の抽出」 および「解決策」に関するグループワーク

- 地域の多職種が一同に会しKJ法で施行。
- これまで2回
- 10月と11月で、医師のべ24名、
歯科医師のべ8名、訪問看護師のべ19名、
薬剤師16名、介護・福祉職のべ27名、
行政関係者のべ25名

4 「効果的な医療提供のための多職種連携」

- **医療と介護の連携を促進する催し事例検討会**
- **多職種の職務内容プレゼン大会**
(医師、訪問看護師、歯科医師、薬剤師、ケアマネージャー、介護職、訪問リハ、栄養士、行政、社会福祉協議会、医療ソーシャルワーカー、福祉施設)

5 「在宅医療に関する地域住民への普及啓発」

- **地域の住民対象の在宅医療フォーラムを、2013年3月3日に予定**
- **患者家族、訪問医、訪問歯科、訪問看護師、ケアマネージャ、介護士、薬剤師、など多職種が登壇予定**

6 「在宅医療に従事する人材育成」

■ 「在宅医療推進リーダー研修」

2013年2月17日

埼玉県全体の医師、歯科医師、薬剤師、ケアマネージャー、福祉職、行政担当などの方々を対象として施行予定（埼玉県県民健康センター）

7 「在宅医療に関する地域住民への普及啓発」

- 地域の老人センター（月に1回）
- スーパーにおける啓蒙活動
- 民生委員との協議

今年度施行できなかったこと

- 「在宅医療従事者の負担軽減の支援」
- 連携システム
 - ー そもそも在宅医療自体が乏しく、これらを施行する段階にはないと考えられた